



Rapid Access Keyboard

User's Guide

OPTIONS
by IBM

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願い

本書をお読みになり、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず、2-5ページの付録B、『特記事項と商標』をお読みください。

第 1 版 (1998 年 8 月)

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原 典： 05L1650
Rapid Access Keyboard
User's Guide
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1998.8

©Copyright International Business Machines Corporation 1998. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1998

目次

製品登録 iv

本書について v

第 1 部: クイック・インストレーション・ガイド 1-1

第 2 部: 付録 2-1

付録A. 障害追及手順 2-1

付録B. 特記事項と商標 2-5

 特記事項 2-5

 商標 2-6

製品登録

IBM のオプション製品 (OPTIONS by IBM) をお買い上げいただきありがとうございます。今後、IBM がより良いサービスを提供させていただくため、お買い上げの製品の登録をして、必要な情報を提供して下さるようお願い致します。お客様からのフィードバックは、お客様ご自身にとって重要な製品およびサービスを開発する上で非常に重要な役目を果たし、同時に、お客様と弊社間のコミュニケーションを円滑に進めるために必要な情報となります。オプションの登録は、以下の IBM Web サイトで行ってください。

<http://www.pc.ibm.com/register>

お客様が Web サイトの質問事項の中で、その他の情報を受け取る必要がないことを示された場合を除き、登録された製品に関する情報および更新をお送りします。

本書について

本書には、ラピッドアクセスキーボードの設置および使用に関する説明が記載されており、以下のように第 1 部と第 2 部に分かれています。

- 第 1 部では、本製品の導入方法についてを説明します。
- 第 2 部には、ヘルプおよび保守情報、製品保証条項、特記事項、商標、および電波障害に関する情報が記載されています。

購入の証明書は必ず保存しておいてください。保証サービスを受ける場合に提示が求められる場合があります。

注： 本書中の図が、実際にご使用のハードウェアとは多少異なる場合があります。

第 1 部:クイック・インストレーション・ガイド

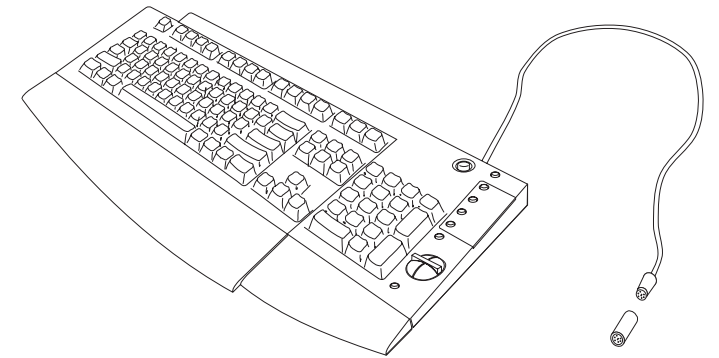
製品の説明

IBM ラピッドアクセスキーボードには、最も一般的に使用されるタスクに高速アクセスするための 14 個のボタンが設けてあり、それによってこれまでになく効率的に操作を行うことができます。このキーボードには、あらかじめプログラムされたボタンがいくつかあり、これらのボタンを使用して、Windows のヘルプ、CD およびオーディオ・コントロールへのアクセスと、さらに、コンピューターがサポートしている場合は、サスペンド・モードへのアクセスを可能にします。また、それぞれのお客様が、最も一般的に使用するアプリケーションを開始するようにカスタマイズできる、4 個のラピッドアクセスボタンがあります。

本書の他に、このオプション・パッケージには次の品目が含まれていません。

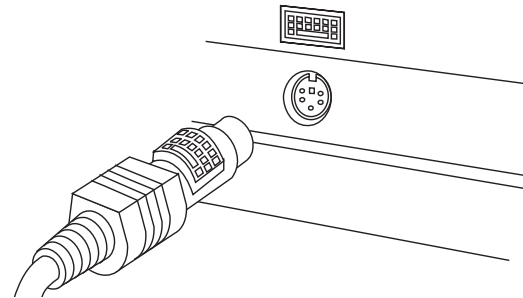
- 接続ケーブル (6 ピン DIN コネクター) 付きの ラピッドアクセスキーボード
- 5 ピン・キーボード・ポートのコンピューター用アダプター
- ラピッドアクセスのソフトウェアが入った ラピッドアクセスキーボード CD
- オプションのパーム・レスト (キーボードに装着します。)

次の図は、オプションのリスト・レストを接続した状態の ラピッドアクセスキーボード と、付属のアダプター (5 ピン DIN コネクター) を示しています。



キーボードの設置

1. コンピューターとすべての接続装置の電源をオフにします。
2. キーボードを交換する場合は、接続されているキーボードを取り外します。
3. キーボード・ケーブル DIN コネクタを、コンピューターのキーボード・ポートに接続します。ご使用のコンピューターに 5 ピンのキーボード・ポートがある場合は、付属のアダプターをケーブルに接続してから、ポートにプラグを差し込みます。



4. コンピューターの電源をオンにして、キーボードを使用できるようにします。

キーボード・デバイス・ドライバーのインストール

1. ラピッドアクセスキーボード CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. スタート ボタンをクリックし、ファイル名を指定して実行 を選択して、次のように入力します。

`x:\setup`

ここで、*x* はご使用の CD-ROM ドライブに割り当てられている文字です。なお、Windows のオートラン機能が使用可能になっている場合は、CD をドライブに挿入するとインストール・プログラムが自動的に軌道します。

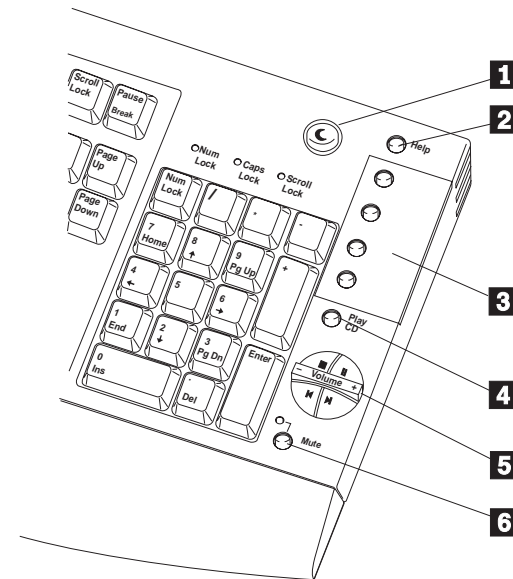
3. 画面に表示される指示に従って、デバイス・ドライバーをインストールします。

製品の保守

ラピッドアクセスキーボード を適切に保守することによって、この製品をより長くお使いいただくことができ、キーボードあるいはコンピューターの損傷の原因が生じる可能性を少なくすることができます。

キーボードのクリーニングを行う場合は、柔らかい布に、水と刺激の少ない洗剤を混ぜた溶液を含ませて使用してください。クリーニングの前には、必ずキーボードのプラグを抜いてください。キーボードに液体をこぼしてはなりません。液体をこぼすと、キーボードが損傷し、正しく機能しなくなります。

以下の図は、ラピッドアクセスボタンとその機能を示しています。ラピッドアクセスボタンのカスタマイズに関する以下の説明は、この図を参照しながらお読みください。



1 サスペンド・ボタン

2 ヘルプ・ボタン

3 カスタマイズ可能ボタン (4)

4 CD 再生ボタン

5 CD/ボリューム・コントロール・ボタン

6 消音ボタン

ラピッドアクセスボタンのカスタマイズ

カスタマイズ可能ボタンのいずれか (左の図の場合は **3**) を初めて押すと、コンピューターが自動的にラピッドアクセスソフトウェアを開始し、このソフトウェアがカスタマイズ・プロセスを援助します。これ以降、ラピッドアクセスボタンのカスタマイズを変更する場合は、次の手順でこのソフトウェアにアクセスすることができます。

1. スタート をクリックして、設定、コントロール パネル の順に進みます。
2. ラピッドアクセスキーボードをダブルクリックして、このソフトウェアをオープンします。

ラピッドアクセスボタンのラベル付け、設定変更のセットアップ、作業環境のセットアップ、および障害追及の詳細を表示するには、ラピッドアクセスソフトウェアの最初の画面でヘルプ ボタンをクリックします。また、IBM サポートの Web サイトにアクセスすると、ラピッドアクセスキーボードの使用に関するヒントを入手することもできます。このサイトにアクセスするには、以下のアドレスを使用してください。

<http://www.pc.ibm.com>

このページにはスクロール・ボックスがあり、そこで発信元の国を選択することができます。国を選択したら、そのボックスの右側の Go というワードをクリックします。これを行うと、その国の 1 次言語で書かれた Web ページがロードされます。このページで、PC 周辺機器 (Options by IBM) を選択します。これが左のナビゲーション域になります。そこから、情報が必要な製品グループを選択することができます。英語で、直

接 IBM のオプション (Options by IBM) サポート・ページにアクセスしたい場合は、以下のアドレスで検索することができます。

<http://www3.pc.ibm.com/support>

付録A. 障害追及手順

コンピューターの問題の原因には、ハードウェア、ソフトウェア、あるいは使用方法に問題があります。ここに示す情報を参考にすれば、自分で問題を解決したり、あるいはサービス技術員に渡すための有用な情報を収集できる可能性があります。また、本書の他に、コンピューター、あるいはオペレーティング・システムの資料も参照する必要が生じる場合もあります。

以下の項目を調べて、ご自分の状態に合った問題の説明があるか探してください。

Rapid Access ボタンをカスタマイズするときに、探しているプログラムが見つからない。

Rapid Access ボタンをカスタマイズしているときに、希望の選択項目(たとえば、インターネット・ブラウザやワード・プロセッサなど)が見つからない場合には、カスタマイズ画面に表示されているオプション設定の項目(画面の右側)を見てください。最初のオプションを選択すると、推奨されたプログラムだけがリストされます。2 番目のオプションを選択すると、ハード・ディスク上にあるすべてのプログラムのリストが表示されます。3 番目のオプションを選択すると、ハード・ディスク上にあるすべてのプログラムおよびファイルのリストが表示されます。したがっ

て、2 番目または 3 番目のオプションが選択されているか確認し、探しているプログラムが見つかるまでそのリストの中を検索してください。

サスペンド・ボタンが正しく作動しない。
サスペンド・ボタンを押してコンピューターの電源を遮断した後、次にそのボタンを押したときに元の状態に戻らない場合、もしくはサスペンド・ボタンを押しても何も起こらない場合には、そのシステムの電源管理ソフトウェアがこの機能をサポートしていない可能性があります。サスペンド機能がサポートされていない場合には、キーボード上のサスペンド・ボタンは使用できません。

サスペンド・ボタンが正しく作動するには、そのコンピューターが Windows 95 バージョン 4.00.950B またはそれ以上をサポートしていて、電源管理機能 (APM) レベル 1.1 またはそれ以上のハードウェア・サポートが必要です。一部のコンピューター(特にノート型 PC)の場合、サスペンド・ボタンによってコンピューターがスタンバイ(サスペンド)に入りますが、サスペンド・ボタンを再度押したときにそのコンピューターは元の状態には戻らなくなります。コンピューターでこの状態が発生した場合、そのシステムに付属の資料をチェックして、ご使用のコンピューターの電源管理システムについて詳しく調べてください。

ご使用のコンピューターがサスペンド機能をサポートしているかどうか調べるには、「システムの始動メニュー」をチェックして、サスペンド・オプションがそこにリストされているか確認してください。そこにサスペンド・オプションがリストされていれば、それを選択してみてください。コンピューターは低電力状態に入るはずですが、マウスを動かさず、キーボー

ドを使用すると、通常の機能が再開します。そのコンピューターの「システムの始動メニュー」にサスペンド機能がリストされていても、その機能を選択したときにそれが作動しない場合には、キーボードのサスペンド・ボタンも作動しません。

そのコンピューターの電源管理の設定値を修正してから、コントロール・パネルを表示して 電源の管理 を選択します。電源管理設定値の詳しい変更方法については、ご使用のコンピューターまたは Windows の資料を参照してください。

ヘルプ・ボタンが正しく作動しない。

ヘルプ・ボタンを押しても Windows のヘルプが開始しない場合、そのコンピューターに Windows のヘルプがインストールされていて、作動しているかどうかチェックしてください。「スタート」メニューから、「ヘルプ」を選択します。そこから「ヘルプ」にアクセスできない場合、インストールされていない可能性があります。Windows の資料を参照して、コンピューターに Windows を導入した時に Windows のヘルプを導入したかどうかを確認してください。

CD コントロール・ボタンまたはボリューム・コントロール・ボタン (あるいはその両方) が作動しない。

キーボード上の CD およびボリューム・コントロール・ボタンは、そのコンピューターのサウンド・カードおよびオーディオ再生ソフトウェアによって作動します。一部のオーディオ・ソフトウェア・プログラムがラピッドアクセスキーボード と互換性を持っていないことが考えられます。

CD コントロール・ボタンまたはボリューム・コントロール・ボタン (あるいはその両方) が作動しない場合、オーディオ再生ソフトウェアに問題がある可能性があります。お使いのオーディオ・ソフトウェアをクローズ

して、CD およびボリューム・コントロールには Windows の CD プレーヤーを使用してみてください。それ以外のオーディオ・ソフトウェアがオープンしていない場合、CD 再生ボタンまたは CD コントロール・ボタンを押すと、Windows の CD プレーヤーが自動的にオープンします。これらのボタンが Windows の CD プレーヤーで作動する場合は、お使いのオーディオ・ソフトウェアがこのキーボードと互換性がありません。

まだこれらのボタンが作動しない場合、Windows の CD プレーヤーを手動でオープンして、それが正しく作動しているか確認してください。スタート ボタンをクリックし、プログラム、アクセサリ、マルチメディア、(またはエンターテイメント)および **CD** プレーヤー の順に選択します。

Windows の CD プレーヤーが作動している場合、キーボードに問題があります。CD プレーヤーが作動しない場合、サウンド・カードが CD-ROM ドライブに問題があります。詳しくは、コンピューターまたはサウンド・カードに付属の資料を参照してください。

ラピッドアクセスボタンがどれも作動しない。

ラピッドアクセスボタンのいずれも作動しない場合、ラピッドアクセスソフトウェアの中の 設定の変更 メニューで使用可能になっているか確認してください。ラピッドアクセスボタンを使用可能にするには、次のようにします。

1. コントロール パネル をオープンします。
2. ラピッドアクセスキーボードアイコンをダブルクリックして、ラピッドアクセスソフトウェアをオープンします。
3. 最初に表示されるウィンドウでカスタマイズ ボタンをクリックしてから、次のウィンドウで設定の変更 ボタンをクリックします。

4. 「設定の変更」ダイアログ・ボックスで、ラピッドアクセスボタンを使用可能にする を選択してから、**OK** をクリックします。

コンピューターが停止してしまう。
ラピッドアクセスキーボードを使用しているときにコンピューターが停止してしまった場合は、ラピッドアクセス LED を使用不可にします。このようにすれば、消音ボタンまたはサスペンド・ボタンを押すと、消音 LED またはサスペンド LED が点灯しなくなるようにすることができます。一部のコンピューター (特にノート型 PC) では、LED がオンになると、それが原因で競合が起こり、それによってコンピューターが停止してしまいます。

ラピッドアクセス LED を使用不可にするには、次のようにします。

1. ラピッドアクセスソフトウェアを開始します。カスタマイズ をクリックします。
2. 「カスタマイズ」パネルで、設定の変更 をクリックします。
3. 「設定の変更」ダイアログ・ボックスで、ラピッドアクセス **LED** を使用不可にする をクリックします。
4. **OK** をクリックします。
5. 「カスタマイズ」パネルで、キャンセル をクリックして、ラピッドアクセスソフトウェアを終了します。

ラピッドアクセス LED を使用不可にした後もシステムの停止が起こる場合は、ポインティング・デバイスとラピッドアクセスボタンの間に競合が存在する可能性があります。ラピッドアクセスボタンを押しているときは、マウス (あるいはノート型 PC の場合は標準装備のポインティング・

デバイス) を動かさないようにしてください。また、コンピューターが初期化を行っている間も、マウスやポインティング・デバイスを動かさないようにしてください。

ボタンを 1 回押しただけなのに、コンピューターが、2 回押ししたときのように反応する。
この問題がある場合は、キーボードの「表示までの待ち時間」の設定値を変更する必要があることが考えられます。

「表示までの待ち時間」設定値を変更するには、次のようにします。

1. 「スタート」メニューを表示して、設定、コントロール パネル、およびキーボード (ラピッドアクセスキーボードではなく) を選択します。
2. 速度タブを選択してから、表示までの待ち時間スライダーを右に動かして、“短く”のところまで移動させて **OK** をクリックします。

ここにリストされていない別の問題がある。
ラピッドアクセスキーボード に関して他の問題がある場合はすべて、ラピッドアクセスソフトウェアをアンインストールしてから、再インストールしてみてください。

1. Windows デスクトップから、スタート をクリックしてから、設定、コントロール パネル、およびアプリケーションの追加と削除 の順に選択します。
2. そのリストから **IBM** ラピッドアクセス を選択し、追加/削除 をクリックします。

3. アンインストール手順が終了したら、ラピッドアクセスキーボード CD を CD-ROM ドライブに入れます。スタートをクリックしてから、ファイル名を指定して実行 を選択し、次のように入力します。

x:\setup

ここで、*x* はご使用の CD-ROM ドライブに割り当てられている文字です。

また、IBM サポートの Web サイトにアクセスすると、ラピッドアクセスキーボード の使用に関するヒントを入手することもできます。このサイトにアクセスするには、以下のアドレスを使用してください。

<http://www.pc.ibm.com>

このページにはスクロール・ボックスがあり、そこで発信元の国を選択することができます。国を選択したら、そのボックスの右側の **Go** というワードをクリックします。これを行うと、その国の 1 次言語で書かれた Web ページがロードされます。このページで、**PC 周辺機器 (Options by IBM)** を選択します。これが左のナビゲーション域になります。そこから、情報が必要な製品グループを選択することができます。

英語で、直接 IBM のオプション (Options by IBM) サポート・ページにアクセスしたい場合は、以下のアドレスで検索することができます。

<http://www3.pc.ibm.com/support>

付録B. 特記事項と商標

この付録には、製品の特記事項と商標情報が記載されています。

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所

商標

以下の用語は、米国またはその他の国（あるいはその両方）において IBM 社が所有する商標です。

IBM
HelpCenter

Windows は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標の場合があります。



部品番号: 05L1650

Printed in Japan



05L1650